

黄河の船  
橋を渡る

蘭州より  
の岐路

諸準備漸く整ひ十二月十八日を以て蘭州を發し其の北門外なる黄河の船橋を渡る。橋長さ二百五十米突、二十四隻の船より成れり。黄河は此邊流速急に、水色亦稍と清く、蘭州府民の飲料は悉く之を同河に仰げり。金城關チンチヨンコワンは北塔山の麓に在りて、人家約三百餘、徐家灣シユイチヤワン、十里堡の間は、沿道棗、梨、柿等の果木林を爲し、沙溝口サコウカオ附近は桃及棗の大果林一帯に相連り、轉た花時の美觀を連想せしむ。河涯井ホアイチンは北塔山の西麓に位置し、之を過れば朱家井チュチヤチンなり行程約六里此處に宿す。蘭州より次驛の紅城堡ホンチヨンブに到るには、二條の道路ありて、南路は黄河及其の支流金羌河に沿ふて上り、北路は蘭州を距る我約三里の地點に及んで右折し、黄河を謝して狹谷地に進む。車輛は概ね北路に頼れり。聞く所に據れば南路は大約三里の捷徑なるも、坂路多きと、路面石多き爲め、通過稍々困難なりと。地形は蘭州の平原を出づれば、隴山支脈は南に、北塔山脈は北に相竝びて、共に西に走り、黄河其の中間を貫流して、一長隘地を成し、最廣の處も漸く二千米突を過ぎず。北塔山脈は傾斜甚だ急なるに反し、隴山支脈は頗る緩なるか故に、山麓概ね臺地を成せり。黄河は其の左岸廣く、道路も亦此に通す。